

① 毛糸
② 新たに
③ 木馬

④ 五分
⑤ 矢先

2
1 A ウ
B エ
C イ

2 4
3 自由する

※3 完答

4 三
5 7

6 ア 1
イ 2
ウ 2

3
1 A ウ
B ア

2 ア
いねむりを
じやまされ

イ
きりころ

3 だ
4 ③ エ
④ ア
⑤ イ

配点	
①	各2点×5=10点
②~③	各5点×18=90点
<hr/>	
<計>100点	

① 小学校二年生までに学習した漢字から出題している。①「糸」は形に注意して書こう。②「新」は「親」とうっかりまちがわないように気をつけよう。③「回転木馬」は「メリー・ゴー・ラウンド」のことである。ことばを知らなければ書けなかったかもしれない。④「五分」には意味がいくつかあるので、辞書で確かめておこう。この問いの場合は「優劣がないこと」を表す。⑤「矢」は四画目を上につきだして「失」としてしまわないように気をつけて書こう。「矢先」には「ものごとが始まるうとするときやその直後」という意味がある。

②

1 A (A) の前後で昔の日本といまの日本のちがいについて書かれていることから考える。

B (B) の前に書かれていることは (B) の後に書かれていることの原因になっていることから考える。

C (C) の後に書かれていることが (C) の前に書かれていることの原因になっていることから考える。

2 「多くのいきものはどのようにして見つけているのですか」という問いなので、「多くのいきもの」を手がかりにしてさがしていく。①、②段落は人間の話で、③段落から「いきもの」の世界の話に移っていくが、③段落には「どのようにして見つけている」のかは書いていない。④段落に「多くのいきものは、オスがメスに自分のことをアピールする。アピールされたメスが、オスを選ぶのだ」と書いている。

3 線②をふくむ一文、「あたりまえに思うかもしれないが、じつは、いきもの世界では、そのように自由に恋をするのは、めずらしいことなのだ」を読めば答えがわかる。この文を読みかえると「自由に恋をするのはあたりまえに思うかもしれないが、じつは、いきもの世界では、めずらしいことなのだ」となる。つまり「あたりまえ」と思われることは「自由に恋をする」ことである。

4 線③より後を読み進めると、⑧段落に「なぜそのような行動をするのか、じつははっきりとわかっていない。恋の相手をうばい合うことをさけるためや、自然の環境が変わってきた結果、とも言われている」、⑨段落に「また、若いキリンのオスは、メスと恋をする前に、オス同士で短い恋を経験するものも多いそうだ。恋の練習をしているとも言えるかもしれない」と三つ書かれていた。

5 前半を「いきものの恋の相手の見つけ方」とすると、後半は「オス同士、メス同士の恋」が話題となっていると考えられるので、⑦段落からとなる。

6 ア ⑥段落に書かれている内容にあっている。

イ ③段落に「じつは、いきもの世界では、そのように自由に恋をするのは、めずらしいことなのだ」とある。

ウ ②段落に「いまの日本では自由に恋ができる」とあるが、親が決めた相手を好きになって結婚するのも「自由」と言えるだろう。

③

1 A (A) の後にある「すわっていました」につながることをえらぶ。「舟のまん中に」すわることがわるいわけではないので「うっかり」はおかしい。

B (B) の後にある「眼をあけて」につながることをえらぶ。子どもたちが飴だまをせがむ様子を「うっとり」見ているというのはおかしい。

2 ア いねむりをしている「さむらい」が怒る理由は何かと考えると、(B) の次の行に「いねむりをじゃまされたので、このおさむらいは怒っているのにちがいない、と思いました」とある。

イ では、いねむりをじゃまされた「さむらい」はどうしたのか。本文後ろから七行目に「さむらいが、すらりと刀をぬいて、お母さんと子どもたちのまえにやってきました」とあり、さらに「いねむりをじゃました子どもたちを、さむらいがきりころすと思ったのです」とある。「お母さん」は「さむらい」を怒らせると刀できられると考えていたが、そのおりのことがおころうとしていると思っただけである。現代だと考えられないことだが、昔は「さむらい」に無礼なことをした町民は刀できられることがあったそうである。

3 「だだをこねる」は、おさない子が自分の思い通りにならないときに、泣いたりあべたりしてわがままを言いはるという意味である。

4 ③ 「さむらい」が怒ってしまうから、「お母さん」は「子どもたち」をおとなしくさせたいのである。

④ 「子どもたち」がきられると思っ、「お母さん」は「子どもたち」を守ろうとしているのである。

⑤ 「飴だまを出せ」といった「さむらい」に「お母さん」はしたがったのである。